



ノスリ

タカ科〈留鳥〉 全長♂ 52cm・♀ 57cm
褐色の大型のタカ。冬枯れの荒川堤外や対岸の秋が瀬公園ではよく見られ、柳瀬川沿いにもたまに現れる。水田地帯や草地など開けた環境でネズミやカエルなどを食べる。



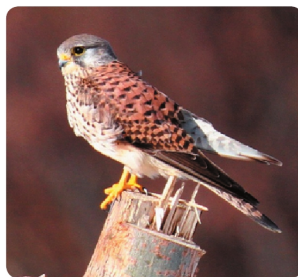
カワセミ

カワセミ科〈留鳥〉 全長 17cm
背は鮮やかなブルーで、飛ぶ宝石とも呼ばれ人気がある。川の水質改善とともに市内でも増加している。水中にダイビングして長く鋭いくちばしで小魚を捕る。土が露出した垂直の崖に穴を掘って巣作りするので、繁殖には垂直な土の崖が必要。



チョウゲンボウ

ハヤブサ科〈留鳥〉 全長♂ 33cm・♀ 38cm
尾が長くスマートな体形。広い農耕地や草地でエサを探す。都市部のビルの間隙などでも繁殖する例がある。柳瀬川周辺や宗岡で見られる。【準絶滅危惧】



ハヤブサ

ハヤブサ科〈留鳥〉
全長♂ 42cm・♀ 49cm
直線的に飛び、獲物のハトなどを足でつかみ狩る。顔の黒いひげのような斑が特徴。志木ではおもに冬期、開けた水田や市街地の鉄塔の上などで観察されている。【絶滅危惧Ⅱ類】